



No.3018

第3336回例会

平成25年 2月27日

DISTRICT 2500

## OBIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と育み地域にロータリー理念を生かそう

会長 奥原 宏

2012-13年度国際ロータリーのテーマ 奉仕を通じて平和を

2月13日例会 会員総数88名(内免除会員5名)

出席  
報告

出席者数 54名

欠席者22名  
(出免5名)

(名)

メークアップ 12名

88

## ■会長報告

奥原 宏 会長



今日は2月27日であり、はやいもので2月も残すところ2日で終わろうとしています。

2月23日(日)はロータリーの創立記念日でありました。1905年、今から108年前の2月23日、ポール・ハリスと3人の友人が最初の会合を開きました。これがロータリーの始まりであります。また来月の15日は帯広RCの創立記念日になり、3月6日には創立記念夜間例会となっており、お酒も用意されておりますので、多くの会員のご出席をお願いいたします。

本日のプログラムは世界理解月間にちなんで米山奨学生であるミョートウラゾー君の卓話になっております。ことばの壁はありますが温かい気持ちで聞いていただければと思います。

## ■プログラム

## 「米山記念奨学生に聞く、帯広の印象と将来の夢」

米山記念奨学委員会

米山記念奨学生 ミョー・トウラゾー 様



私は帯広畜産大学大学院畜産衛生学専攻博士後期課程3年生です。2010年の10月に入学して2013年の9月に修了予定です。昨年4月から米山奨学生に選んで頂きました。所属は帯広ロータリークラブで担当は讃岐さんです。毎月ロータリークラブの月例会に出席して多くのロータリー会員の方々の知己を得ることができました。この月例会で皆さんから日本および日本の文化について教えて頂きました。そして、ロータリーのテーマとも言える“超我的奉仕”を身をもって学びました。つまり、私がロータリーの月例会に参加するたびに会員の皆さんが暖かく迎えて下さり、話し相手になって下さいます。

本日は私の母国、ミャンマーと現在、私が大学院で行っている研究についてお話し致します。

私の母国、ミャンマーは東南アジアの一国です。東にタイとラオス、北に中国、そして西にインドとバングラデシュと接しています。国土は世界で40番目、東南アジアでは2番目の広さです。人口は6000万人強で世界で24番目の人口です。日本と比較すると、国土は2倍の大きさですが、人口は2分の1です。ミャンマーには8つの民族が存在し、それぞれ異なる言語を使用します。ビルマ人が最も多くビルマ語が公用語です。第二外国語としては英語が使われます。ミャンマーの主要な宗教は仏教で、仏教寺院がいたるところにあります。ミャンマーの人々はキリスト教やイスラム教など他の宗教に対しても敬意を払います。仏教寺院の他に教会やモスクもあります。

1997年にミャンマーはASEANに加盟しました。2010年の総選挙の後に、ミャンマーは軍政から民主政治に移行したので、現在、世界の国々がミャンマーと正常な国交を結ぼうとしています。

ミャンマーは熱帯に位置していますが地域によって気候が異なります。ミャンマー北部では雪が降ることもあります。ミャンマーで一番大きな都市であるヤンゴンの夏は3月から5月

で、時として気温は37℃にも達します。ヤンゴンの雨期は5月半ばから9月で、冬は10月から2月です。冬は大変に過ごしやすくてこの時期の平均最低気温は20℃です。ミャンマーの西から南にかけて約1200マイルの海岸線が広がり、とても美しい浜辺が多く見られます。ヤンゴンのお金持ちは週末を浜辺で過ごします。

ミャンマーの主要産業は農業です。主な作物は米で、耕地面積の60%が水田です。イギリスの植民地時代には世界一の米の輸出国でした。ミャンマーはルビー、石油、天然ガスにも恵まれ、特にルビーは世界の生産量の9割を占めます。

ヤンゴンはかつてミャンマーの首都であり、私はヤンゴンで生まれました。ヤンゴンの人口は550万人でミャンマーで一番の人口を誇ります。ヤンゴンは1000年前には小さな漁村に過ぎませんでしたが、現在もその人口は増え続けています。シュエダゴン・パゴダはヤンゴンにある有名な寺院で2600年前に建立されました。ヤンゴンには高層ビルはなく最も高いビルでも25階建てです。ヤンゴでは一戸建ての値段は高く、多くの人々は6-8階建てのアパートで暮らしています。ヤンゴンのビルは古く、その多くはイギリス統治時代の建物です。これらの古いビルは歴史的建築物として保存が進められています。ヤンゴンの人々の交通手段はバスです。ヤンゴンと周囲の町を結ぶ鉄道網も整備されていますが、市内の移動にはバスが利用されます。ヤンゴンでは自家用車を持つ人はさほど多くありませんが、ラッシュアワーにはひどい交通渋滞が起こります。日本や隣国タイとは異なり、ヤンゴンを含むミャンマーでは車は右側通行です。

現在のミャンマーの首都はネピドーです。ネピドーはビルマ語で“王の場所”の意味です。ネピドーは人工的に作られた都市で7年前から建築が始まり、いまだ未完成です。ネピドーはミャンマー中部に位置し、ヤンゴンから北に200マイルの距離です。ほとんどの政府機関はネピドーに移転しており、今では、ミャンマー第三の都市です。ネピドーには数回しか行った事はありませんがたくさんの高層ビルが林立しているのが印象的でした。

マンダレーはミャンマー第二の都市で人口は約100万人です。マンダレーは1857年に作られた都市で、最後のビルマ王の宮殿があったことで有名です。マンダレーには子供の時に行きましたがもう一度行きたいと思います。

バガンはミャンマー中部に位置する古都で約1000年前に作られました。1万を超える寺院とパゴダが建立され、約2200の寺院は今でも使われています。バガンはミャンマーの人々に人気の観光地です。そこでは古代ビルマ人の素晴らしい建築技術を目の当たりにできるからです。残念ながら私はバガンを訪れたことがないので、大学院を修了したら一度行ってみたいと思います。現在、バガンでは寺院とパゴダの修復と保全が精力的に進められています。

昨年11月初めにミャンマー中部を襲った大地震で少なくとも26名の尊い命が犠牲になりました。

以上、ミャンマーの素晴らしい国土とその文化遺産についてお話ししました。

次に、私が現在、帯広畜産大学大学院で行っている研究についてお話しします。ミャンマーでも細菌感染症は大きな問題で



す。ミャンマーの人々の健康を守るためには、細菌感染症に対する診断法などの公衆衛生の基本的な枠組みを作ることが肝要です。私は母国の感染症予防の枠組みを構築するには海外の大学院で勉強するしかないと考え、医師である父に相談しました。父は言下に、自分が京都大学で博士号を取得した際に指導を受けた倉園先生(当時京都大学医学部助手、現在帯広畜産大学教授)の元で博士課程に進みなさいと助言してくれました。父は京都大学で医学博士号を取得した後、ミャンマーのヤンゴン第一医科大学で15年にわたり細菌学の教育・研究に携わり、現在はマレーシア大学医学部サバ校の准教授をしています。

私の研究テーマは、“尿路病原性大腸菌(UPEC)が産生する尿路病原因子、Uropathogenic Specific Protein (USP)の精製とその機能解析”です。USPをcodeする遺伝子はUPECで発見されUPECに高頻度に存在することが明らかになりました。尿路感染(UTI)で最も症状が重い腎盂腎炎の患者から分離されたUPECの90%以上がこの遺伝子を持っています。UTIの起因菌の大部分がUPECです。UTIはヒトで最も多く見られる感染症で、米国ではその治療費の総額は年間30億ドルにも上ります。usp遺伝子がUPECに高頻度に分布していることから、USPは尿路病原因子の一つと考えられます。私はこのUSPを効率よく発現できる系を構築してUSPを精製し、USPがDNA分解活性を持つことを明らかにしました。USPのUTI発症に関与する作用機序を明らかにするにはさらに多くの実験が必要です。私は現在、このUSPがUPEC感染を起因とするUTIに対するワクチンの候補蛋白であるとの仮説の元に仕事を進めています。昨年8月に帯広で開催された日本細菌学会北海道支部会において以上の研究発表を私自身で行いました。そして、この結果をまとめて昨年12月の初旬に欧米の英文誌に投稿致しました。



大学院1年生では細菌学の基礎とその手技を学びました。大学院2年生から上記のテーマで自分の学位論文の実験を本格的に始めました。実験は非常に面白いのですが、正確な結果を得るためには何回も同じ実験を繰り返して再現性を取らなければなりません。研究者としての研鑽を十分に積むには3年という期間は短いので、とにかく何でも学んでやろうと思うので1日がとても短いです。帯広畜産大学の学生生活は非常に楽しいです。地域や大学の皆さんは留学生に対してとても親切にしてくれます。帯広は大変寒いですが、熱帯に生まれ育った私にとってはとても良い経験だと思います。特に雪を見たのは生まれて初めてでした。

ミャンマーは発展途上国ですので、専門家は海外経験を積むことが求められます。私が日本で学んだ経験は今後の私の将来にとってとても重要です。帯広畜産大学大学院修了後は母国ミャンマーに帰り、大学で教育と研究を行いたいと思います。大

学での学究と平行して、ミャンマーの人々の健康を守るために公衆衛生の実務にも参加しようと思います。

最後に、米山奨学生に選んで頂いたことに感謝すると共に、米山奨学生であることを誇りに思います。博士後期課程修了までの約1年間、研究と勉強に専心すると共に、日本とその文化についてももっともっと学びたいと思います。

## ■会務報告

後藤 健二 幹事

### ①帯 広RC創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 3月6日(水)午後6時  
場 所 ホテル日航ノースランド帯広  
二次会 ウィンザー (会費4,000円)

### ②都市連合会(IM)開催のご案内

日 時 3月9日(土)開会式13:30～  
場 所 ホテル日航ノースランド帯広  
帯広RC例会 12:30～(3Fしらかば 昼食有)  
講演14:10～17:00 閉会式17:00～17:30 友情の宴17:40～

※尚、帯 広RCは、3月13日(水)の繰上げ例会と致します。

帯広西RCは、3月 7日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広南RCは、3月11日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広東RCは、3月12日(火)の繰上げ例会と致します。

### ③帯広RC、次年度第1回クラブ協議会開催のご案内

日 時 3月13日(水)午後6時  
場 所 十勝ガーデンズホテル  
出席義務者 次年度理事・役員・各委員長

④帯広RC、3月20日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

### ⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 3月5日(火)午後6時30分  
場 所 シャレード

⑥帯広南RC、3月18日(月)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、3月29日(金)の例会は、休会と致します。

### ⑦帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 3月28日(木)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル

### ⑧帯広RAC、例会開催のご案内

日 時 3月10日(日)午後2時  
場 所 とかちプラザ2F 視聴覚室  
内 容 『東日本大震災を忘れない』シンポジウム

## ■委員会報告

### ・出席報告

小水 基弘 出席委員

2月27日の例会の報告

会員総数88名(内免除会員5名)出席者数50名(内免除会員1名)

2月13日の例会の報告

メークアップを含む出席者数66名、出席率79.5%

### ・ニコニコ献金

五十嵐聖二 親睦活動委員

中島 一晃 会員

息子が大学に合格しました。あと4年間はがんばります。

石神 美代 会員

本日例会を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

### ■ご結婚祝い

池田 健太 会員

## ■次週のプログラム予定

3月6日(水)「創立記念例会」※夜間例会 18:00～(理事会)



↑携帯サイトが  
できました。  
バーコードリー  
ダーで読み込む  
事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

●事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/太田 隆博・副委員長/藤森 裕康

委 員/中森 保・山本昭一郎・麻生 幸雄・阿部 幹男・加藤 恭一・三浦 啓徹・大野 清徳

●ホームページアドレス /http://www.obihiro-rc.jp